

				授業コード*	3037		
授業科目	機能看護方法1 (看護情報とマネジメント) Management in Nursing 1 (Nursing Information & Management)	責任教員 米増 直美 橋本 麻由里	単位数	1	科目区分	必修	科目履修 可
			時間数	30	開講セメスター	3	
目的と目標	<p>情報は、看護において重要な要素であり、その活用は、看護の質に大きく影響する。また、看護は人間とその生活に直接関わるので、人々が持っている個人情報の意味を理解し、看護活動を行う際には対象に与える影響を十分に考慮して情報を扱う必要がある。</p> <p>目的：看護専門職として、倫理的且つ責任をもって、情報を吟味・活用する能力を育成する。</p> <p>目標：情報とは何かを明らかにし、何故なぜ看護の情報なのか、そして、情報を活用し看護をマネジメントしていく方法を理解する。</p>						
回数	学修課題	内容並びに方法					担当教員
		チームティーチングにより、学生の学びをサポートします。					
1	I 導入・看護実践と情報 1. 看護情報とは何か	本科目の目的・目標、および進め方について説明する。 看護情報の定義、データと情報の違いについて学ぶ。 (講義)					米増
2	2. 看護の目的と情報	看護における情報の意義について学ぶ。 (講義)					米増
3	3. 看護情報と倫理	看護情報を扱う際の留意点、情報の倫理について学ぶ。 (講義)					古澤 吉川
4	4. 看護情報の種類、 収集・発信方法	質の高い情報・情報の種類について学ぶ。 看護情報の収集・発信の方法について学ぶ。 (講義)					橋本
5	5. 看護情報の共有と管理	看護の責任を踏まえ、看護活動の記録の意義について学ぶ。 (講義)					長屋 太田
6	II 看護における情報の活用 1. 個人を対象とした 情報の収集と発信の実際①	個人を対象とした情報収集と発信を実際に行い、その方法と留意点について学ぶ。 1) 看護における情報の活用過程 個人を対象とした情報の収集と発信を行うため、事例を活用して必要な情報・知識を整理する。 (講義・課題学習)					長屋 安田 吉川
7	個人を対象とした 情報の収集と発信の実際②	2) ロールプレイ (情報収集) の実施 看護の目的に合った情報を吟味し、倫理に合った方法で収集し分析する。 (グループ演習①)					
8	個人を対象とした 情報の収集と発信の実際③	3) ロールプレイ (情報発信) の実施 情報を適切に解釈し意思決定に必要な情報を提供する。 (グループ演習②)					
9	2. 情報活用の評価①	4) 情報活用の評価の視点・ロールプレイの評価 看護の目的を達成するための情報活用であったか、倫理の視点も含めて評価する。 (グループ演習③)					
10	情報活用の評価②	全体で情報活用について振り返る。 (発表)					
11	III 情報活用と記録 1. 看護の責任と情報共有①	看護の責任を踏まえた記録を行い、記録の意義を考える。 (グループ演習④・発表)					古澤 安田
12	2. 看護の責任と情報共有②	看護の責任や情報共有の必要性から記録を評価する。 (グループ演習⑤・発表)					
13	IV 学習の統合①	看護における情報活用の意味や扱い方、優先順位の決定について、事例を振り返り統合する。 (講義)					米増 吉川
14	学習の統合②	【課題レポート】看護における情報の意義について自分の考えを整理する。					米増 橋本
15	V 総括	これまでの学修を総括し、討議により学びを深める。 (講義・全体討議)					米増 橋本
評価方法	授業への参加・貢献(グループ演習などへの参加状況)30%、授業終了時のミニレポート30%、課題レポート40%の配分で評価する。						
参考文献と資料	看護法令要覧 (日本看護協会出版会) 薄井坦子.(1992). 何故なぜ看護の情報なのか. 日本看護協会出版会. 他、必要時授業にて提示						
事前準備	機能看護学領域が1年次に開講している科目を十分復習しておくこと。学習内容に示したことは事前学習を要する。						
受講要件							